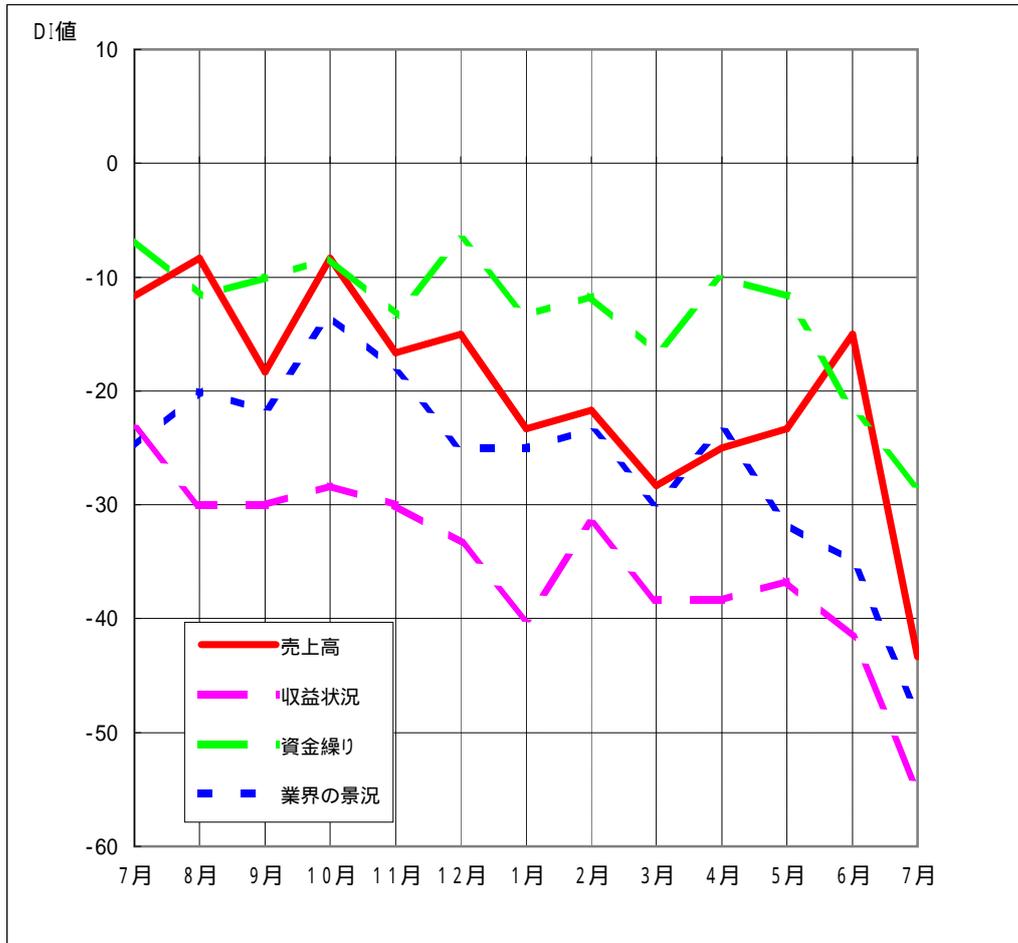


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年7月～平成19年7月

単位:ポイント



	H18						H19						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3
収益状況	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0
資金繰り	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3
業界の景況	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3

7月のDI値をみると、前年同月より全項目で悪化した。「売上高」は前年同月より31.6ポイント悪化し、マイナス40%台に推移、「収益状況」においては31.7ポイントの悪化でマイナス50%台となった。「資金繰り」については、21.6ポイントの悪化でマイナス28.3に推移、「業界の景況」においては23.3ポイントの悪化で、マイナス40%台となった。今月は、やはり7月16日発生の中越沖地震の影響が大きく出ており、県内中小企業の業況は大幅に悪化している。

組合の特記事項には、中越沖地震関連のものが多く見られた。被災地域の組合及び組合員において、直接的な被害の他、風評被害による注文や観光客のキャンセルが多々見られ、大きな売上減少要因となった。また、依然として続いている原材料価格等の高値推移が加わり、県内の中小企業は、中越沖地震の影響を中心に大幅に落ち込み、先行き不透明で非常に厳しい状況となっている。